



Link and Motivation Group

リンクアンドモチベーション 会社説明会

Link and Motivation Inc.

株式会社リンクアンドモチベーション

証券コード：2170

株式会社リンクアンドモチベーション
代表取締役会長

おざさ

よしひさ

小笹 芳央



小笹 芳央 Ozasa Yoshihisa

- 1961年 大阪府出身
- 1986年 早稲田大学政治経済学部卒業、リクルート入社
- 2000年 リンクアンドモチベーション設立
同社代表取締役社長就任
- 2013年 リンクアンドモチベーショングループ会長職に就任
現在、国内外含むグループ16社の代表を務める

主な著作

『組織と働き方の本質』
2025年 日本経済新聞出版

『会社の品格』
2007年 幻冬舎

『モチベーション・ドリブン』
2019年 KADOKAWA

『モチベーション・マネジメント』
2002年 PHP研究所

テレビ出演

「とくダネ！」(フジテレビ)
2009年4月～2010年3月

「カンブリア宮殿」(テレビ東京)
2008年4月

「ガイアの夜明け」(テレビ東京)
2005年4月

アジェンダ

1 会社概要

2 注力事業

3 配当と株主優待制度

4 質疑応答

01 | 会社概要

MISSION

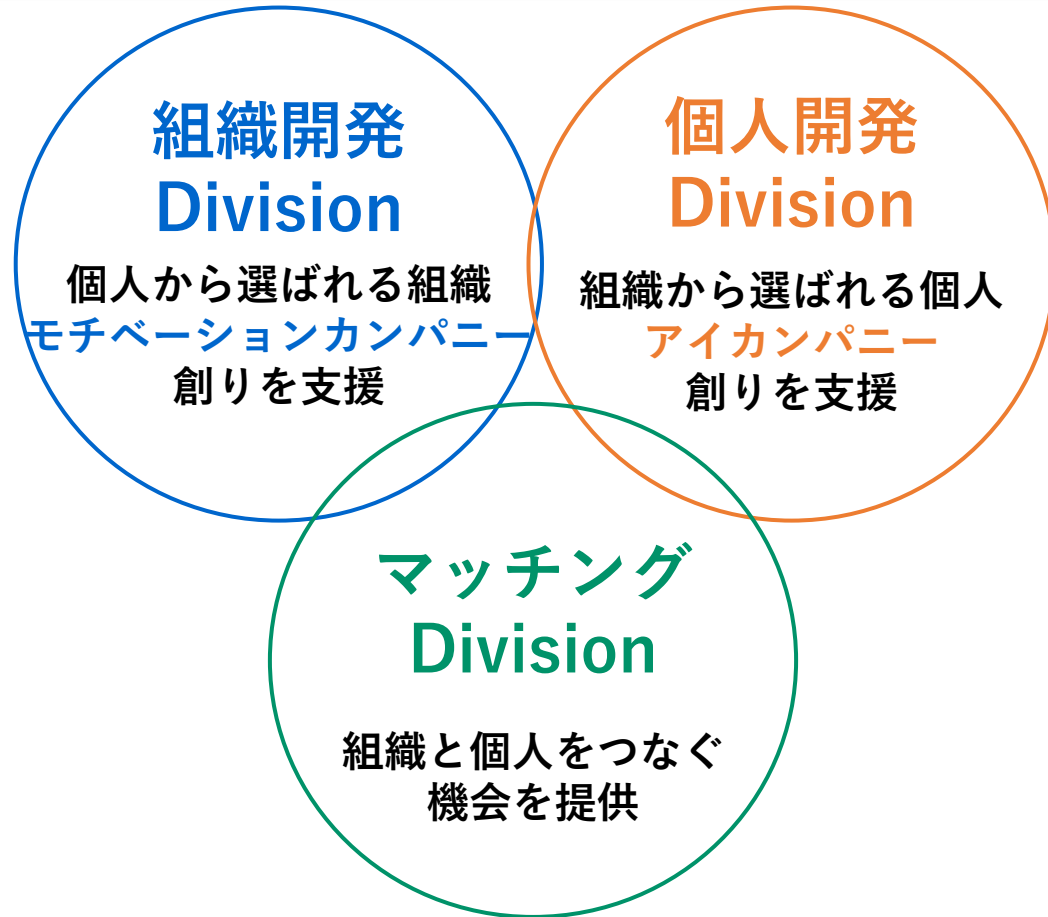
私たちは
モチベーションエンジニアリングによって
組織と個人に変革の機会を提供し
意味のある社会を実現する

私たちは、当社の基幹技術であるモチベーションエンジニアリングを日々進化させることによって、「顧客の願望の実現」や「問題の解決」に向けて、「変革」を支援すること、そしてその「機会」を提供することを使命として定めています。

またそれを実践することで、組織や個人が「夢」や「生きがい」によって、たくさんの意味をこの社会から汲み取っている状態こそが、私たちの実現したい社会です。

BUSINESS

基幹技術 モチベーションエンジニアリング



組織開発 Division	コンサル・クラウド事業
	IR支援事業
個人開発 Division	キャリアスクール事業
	学習塾事業
マッチング Division	ALT配置事業
	人材紹介事業

ベンチャー・インキュベーション

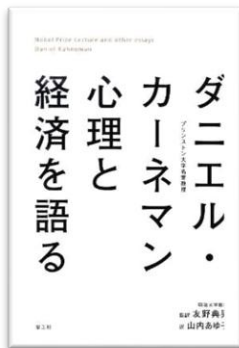
前提 1 | 人間観

人間は○○である

完全合理的な
「経済人」

<

限定合理的な
「感情人」



「人は“**勘定**”ではなく、“**感情**”で判断する」

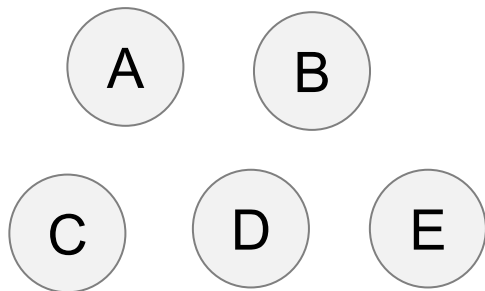
行動経済学の第一人者 ダニエル・カーネマン

前提 2 | 組織観

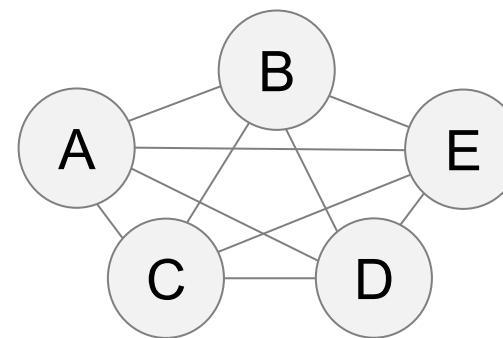
組織は要素還元できない 「協働システム」である

A + B + C + D + E

(例)
5人の組織



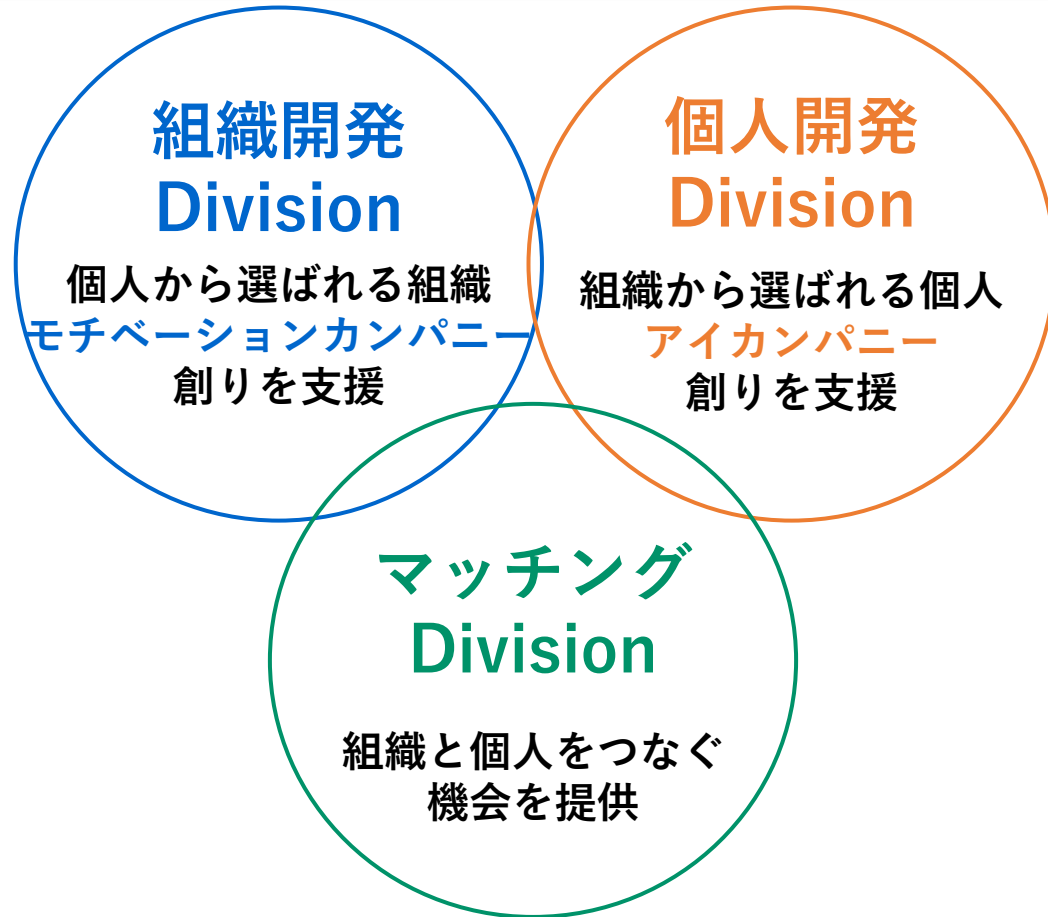
A~Eの協働システム



組織の問題は、「人」ではなく「間」に生じる

BUSINESS

基幹技術 モチベーションエンジニアリング



組織開発 Division	コンサル・クラウド事業
	IR支援事業
個人開発 Division	キャリアスクール事業
	学習塾事業
マッチング Division	ALT配置事業
	人材紹介事業

ベンチャー・インキュベーション

コンサル・クラウド事業

企業向けに人的資本経営の
実践を支援



9年連続
シェアNo.1※1

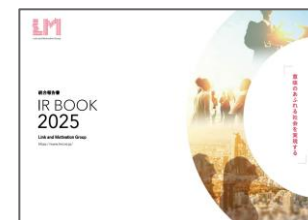


コンサルティング
年間支援社数※2
約**900**社

IR支援事業

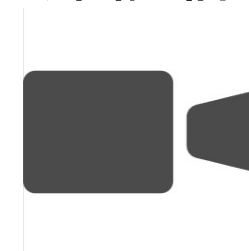
企業向けに人的資本経営の
公表を支援

各種レポート制作



2025年
IR支援企業2社を
完全子会社化

動画配信



上場企業
約4,000社中
約**4分の1**を支援

※1 ITR「ITR Market View：ワークプレイス最適化市場2025」従業員エンゲージメント市場：ベンダー別売上金額およびシェア（2017～2025年度予測）。

※2 2025年1月～2025年12月における取引社数。

キャリアスクール事業

社会人向けに
キャリア創りを支援

AVIVA
パソコンスクール アビバ

DAiEi
資格スクール 大栄

ハミングバード
by Rosetta Stone
Learning Center

Rosetta
Stone
Learning Center

校舎数 過去12カ月平均受講者数

全国約**110**校 約**1.2万**人

学習塾事業

小・中・高校生向けに
学力向上を支援

SS-1

Motivation Academia Inc.

校舎数 過去12カ月平均受講者数

全国**13**校 約**1,000**人

ALT配置事業

日本で働きたい外国籍人材と
自治体のフィッティング※支援



ALT配置人数
約**3,400**名

市場シェア
民間企業圧倒的
No.1

人材紹介事業

求職者と企業の
フィッティング支援



国内最大級の
クチコミ
プラットフォーム

累計社員クチコミ
評価スコア数
2,120万件

※従来のスキルをベースにしたマッチングだけではなく、求職者の性格等のタイプも考慮することによって実現する、定着率の高いマッチングのこと。

これまで**28社**出資し、**12社のイグジット**に成功。**イグジット率は42.9%**。



dataX



Schoo
2024年10月
東証グロース市場上場



RakSul
2018年5月
東証マザーズ上場

ひとりひとりに、しあわせを暮らし
リノベる。



PLAN-B

INNOVATION

2016年12月
東証マザーズ上場



LiB



First Brand

VISIONAL

2021年4月
東証マザーズ上場



GlobalCast

はたらく人のワクワクをクリエイイトする。
あしたのチーム



WILLGATE
MAKE YOUR WILL COME TRUE

やる気スイッチグループ

2023年7月
バイアウト



Phone Appli
2018年8月
バイアウト

FOND

2023年2月
バイアウト



Gojo & Company, Inc.

Vogango

2022年6月
バイアウト



UniFa

jinger

2024年9月
バイアウト



SPACE DATA

fufu

株式会社Fast Beauty



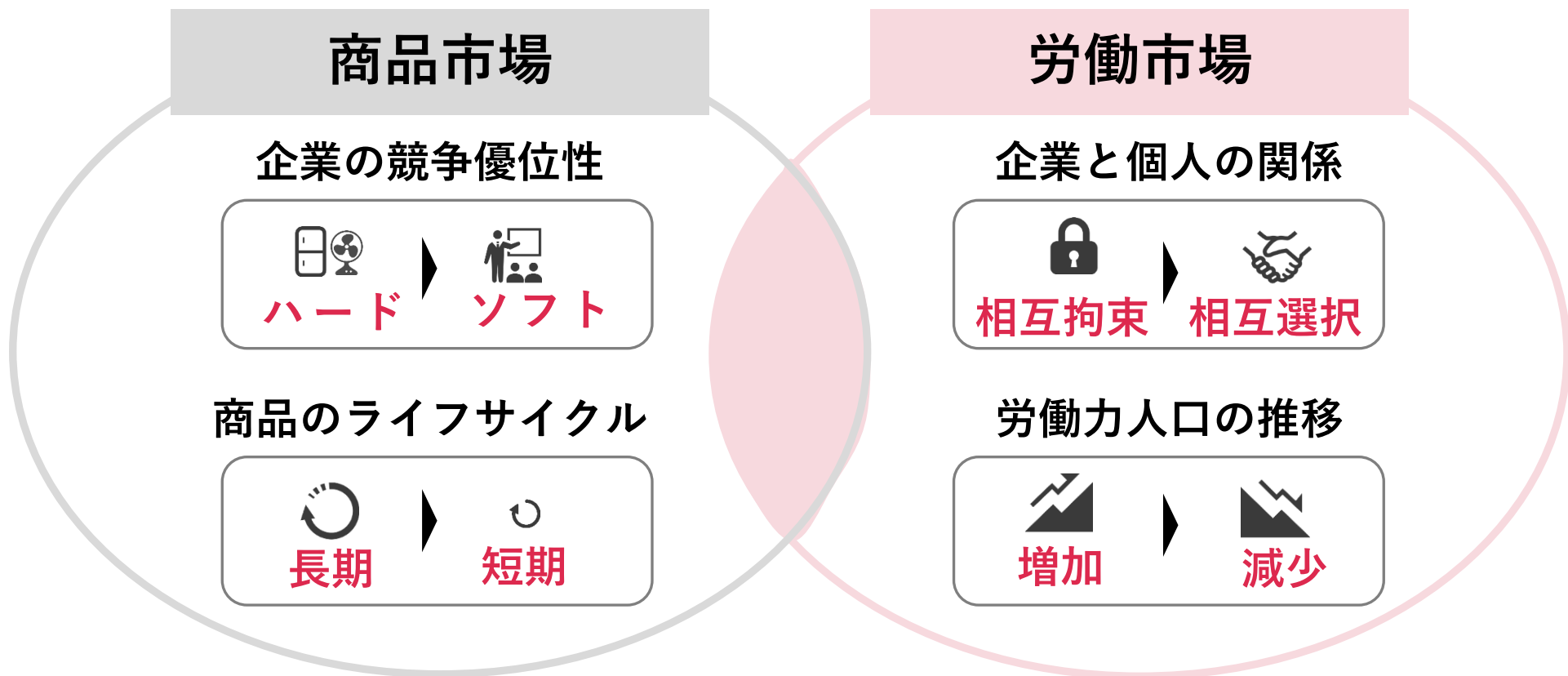
rapyuta
robotics

02 | 注力事業

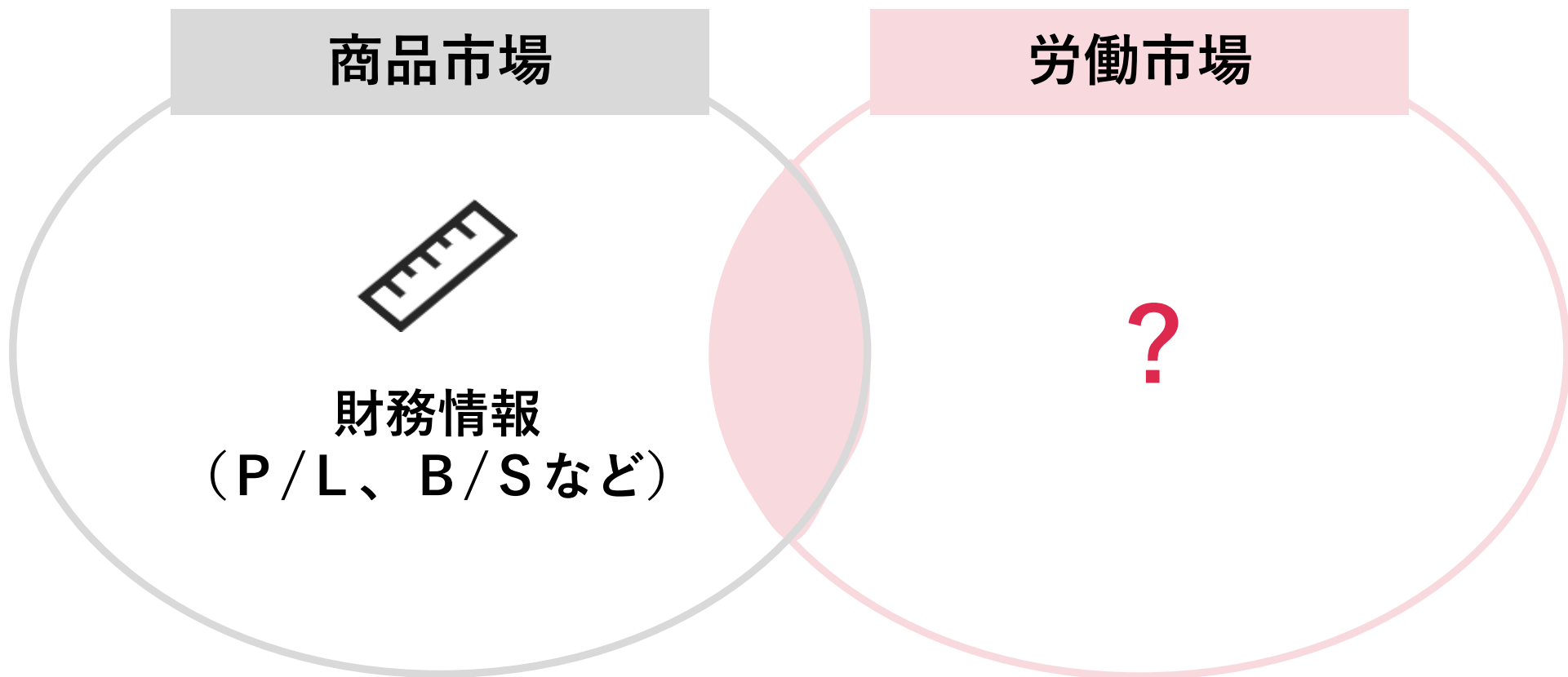
企業による人への投資が、将来的に加速することを見据え、
当面は成長可能性の高い**組織開発Division コンサル・クラウド事業**に注力。



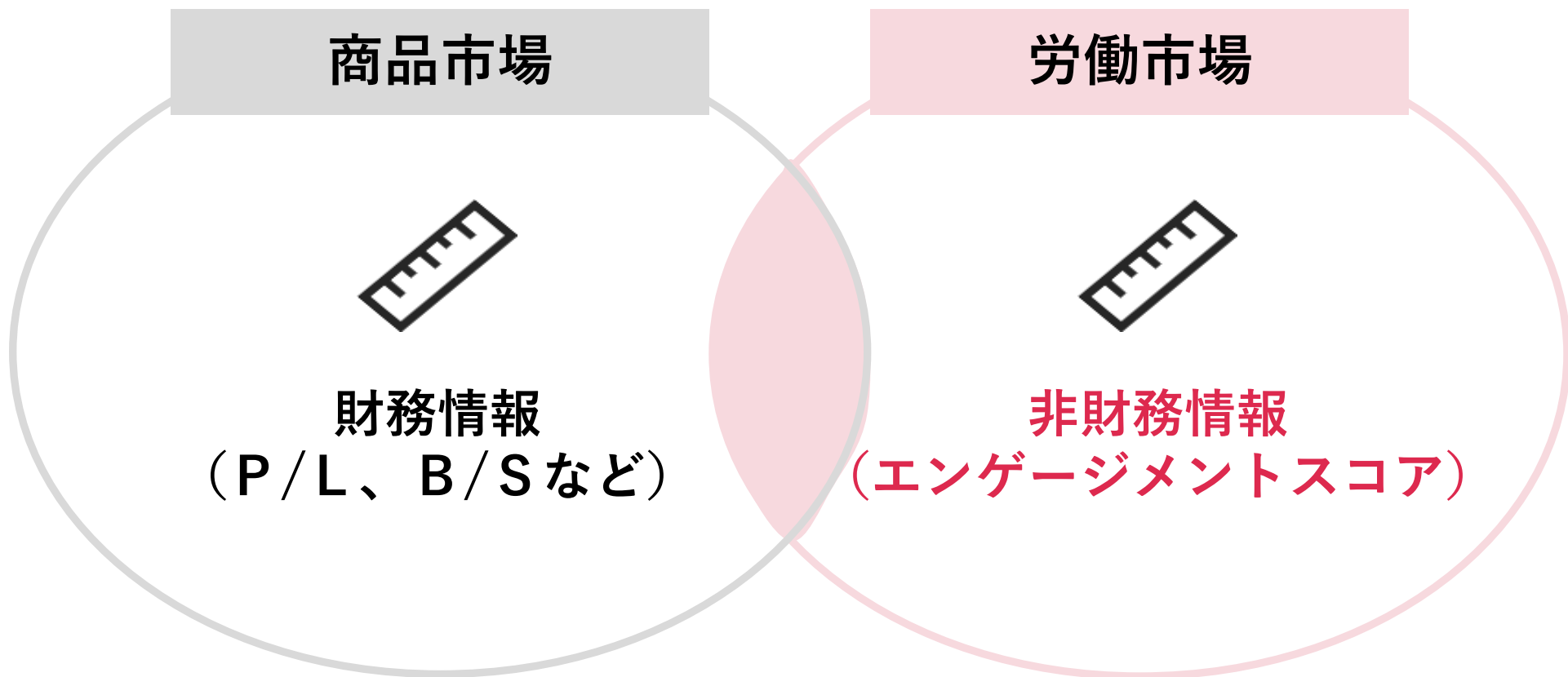
近年、商品市場と労働市場に大きな環境変化が生じており、商品市場に加えて**労働市場への適応が企業の至上命題**となっている。



労働市場適応が至上命題であるにもかかわらず
これまでは、**適応状態を可視化するモノサシが不在。**

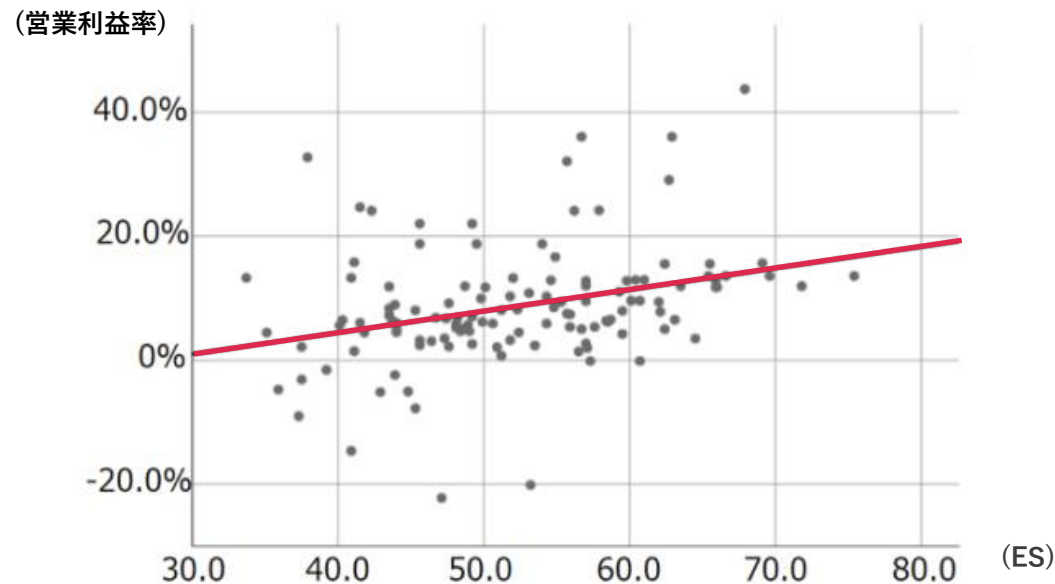


労働市場に適応していくためには、
従業員エンゲージメント向上が不可欠であり、エンゲージメント状態を可視化することが重要。

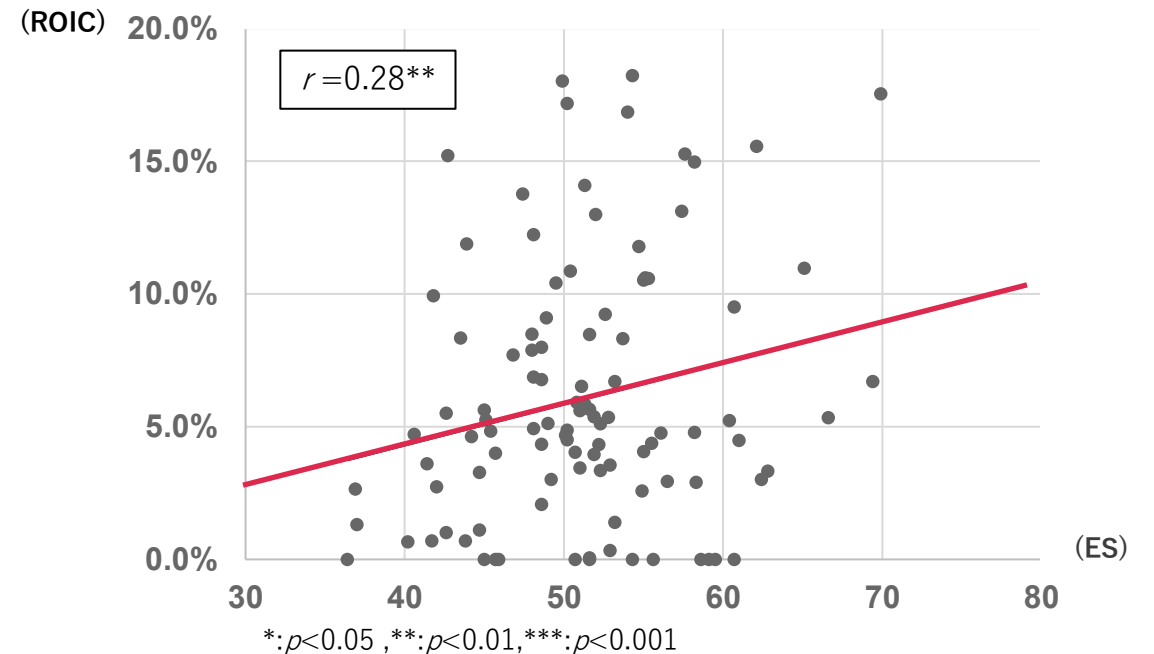


従業員エンゲージメントは、
営業利益率やROICといった指標と正の相関がみられる。

エンゲージメントスコアと営業利益率



エンゲージメントスコアとROIC



- ▶従業員エンゲージメントと企業業績の関係性についての調査結果は[こちら](#)
- ▶従業員エンゲージメントと投資指標の関係性についての調査結果は[こちら](#)

企業の組織状態の診断、変革を通じて、
労働市場からも選ばれる企業づくりを総合的に支援。

診断

変革のための
精度の高い診断を提供



国内最大級のデータベース

延べ **13,930**社 / 約**629**万人

変革

組織人事の課題解決を
総合的に支援



コンサルティング年間支援社数※

約**900**社

※ 2025年1月～2025年12月における取引社数。

①国内大手企業への導入実績

診断サービスである「モチベーションクラウド エンゲージメント」は、幅広い業界の最大手企業が導入し、**9年連続シェアNo.1と圧倒的な地位を確立。**

導入企業例



国内大手企業を中心に
導入を推進

9年連続シェアNo.1※の
圧倒的な地位を確立



※ ITR 「ITR Market View：ワークプレイス最適化市場2025」従業員エンゲージメント市場：ベンダー別売上金額およびシェア（2017～2025年度予測）。

②国内中堅企業に向けた展開加速

国内中堅企業に向けては、各業界の大手企業の支援実績をもとに深耕。
特に製造業、建設業界における導入が加速。

業界の深耕イメージ



すでに、一部業界では**導入が加速**

2026年1Qの受注状況※

製造

15件

建設

4件

※ 日本標準産業分類に準拠。

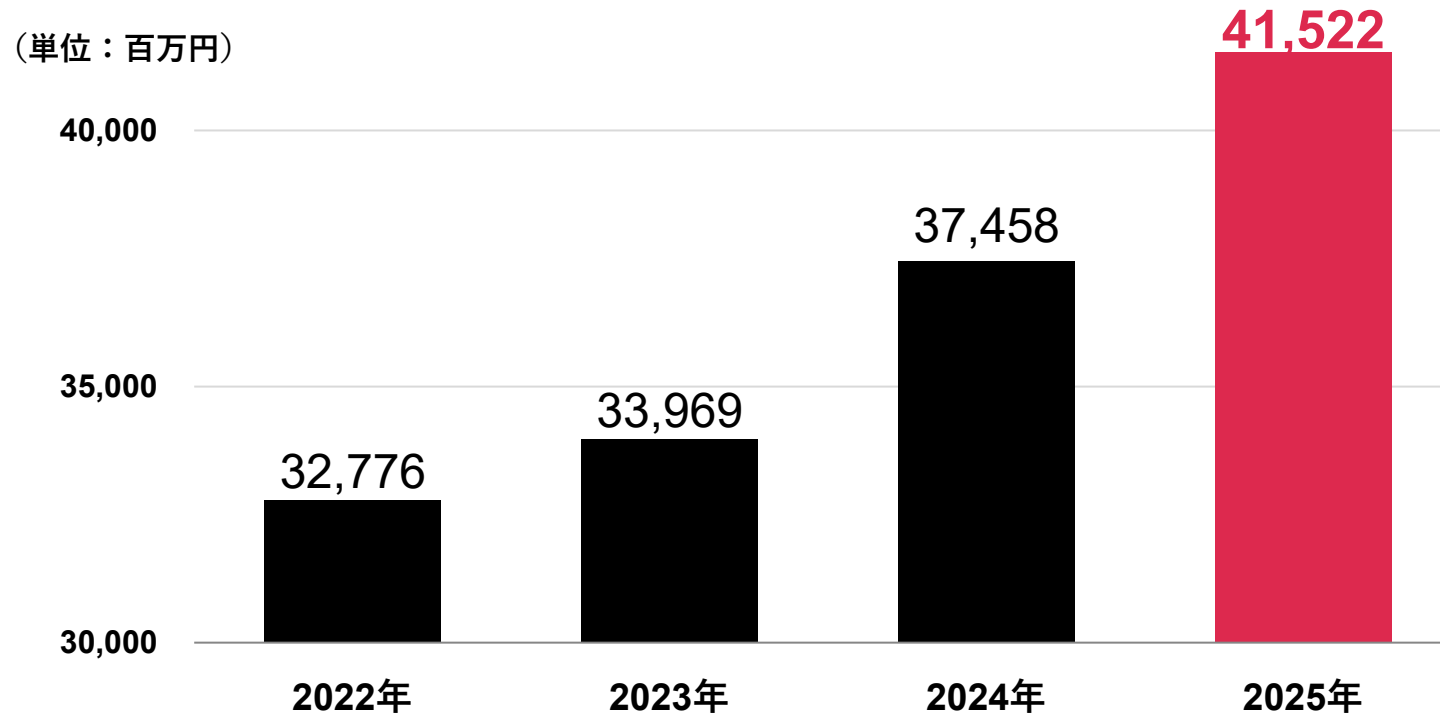
国内市場にとどまらず海外市場への展開も推進。

すでにアジア5か国に子会社を設立しており、**今後は他地域への進出も検討。**



注力事業のコンサル・クラウド事業が伸長した結果、
2025年12月期の売上収益は、**過去最高の415億円を記録。**

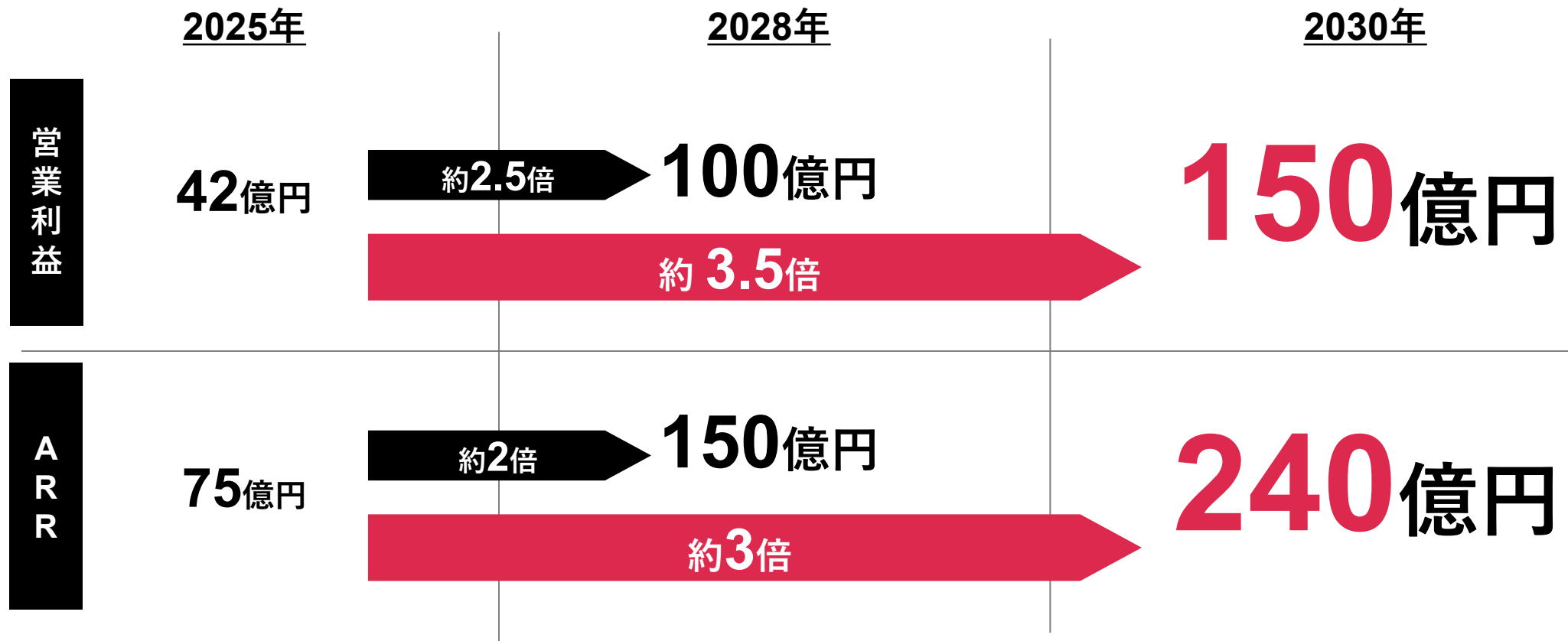
売上収益の推移



2026年12月期については、売上収益は過去最高の467億円、営業利益は、最高益となる63.1億円を見込む。

単位 (百万円)	2025年 実績	2026年 予想	前年比
売上収益	41,522	46,700	112.5%
売上総利益	22,605	25,700	113.7%
営業利益	4,204	6,310	150.1%
当期純利益	2,020	3,930	194.5%
親会社に帰属する当期純利益	1,621	3,470	214.0%

中期的な企業価値向上に向け、**2030年までに営業利益150億円**を目指す。
重要指標として**ARR240億円の達成**を目指す。



03 | 配当と株主優待制度

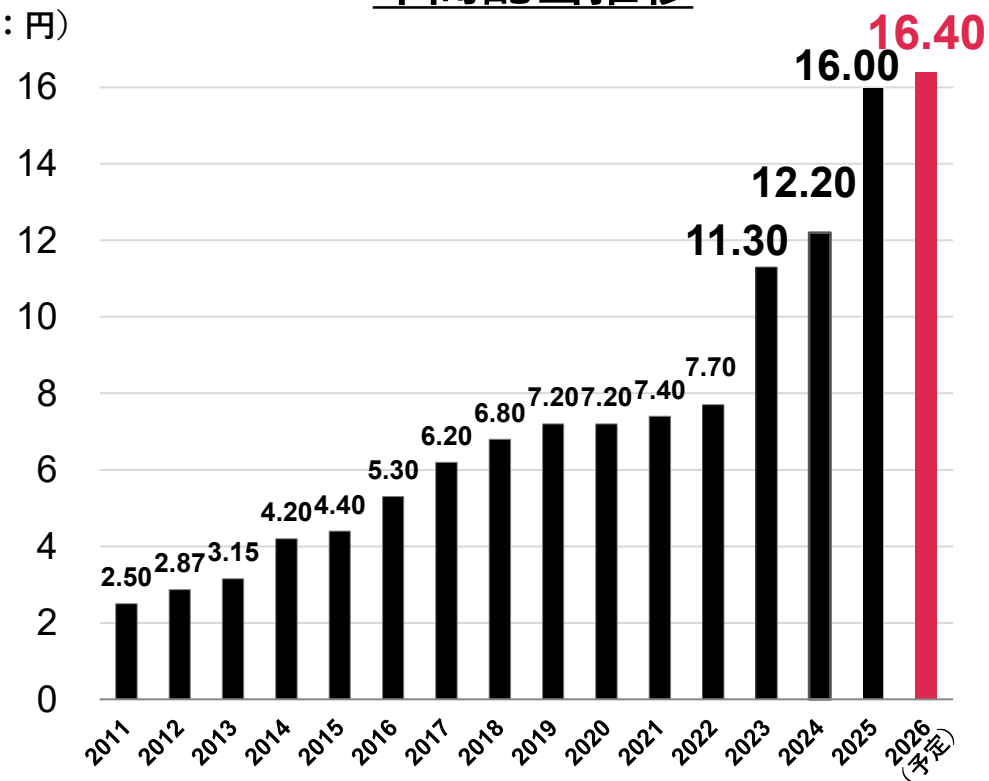
四半期配当を実施。2026年12月期の年間配当は**16.4円を予定**。

2026年12月期

一株当たり配当額 (円)				
第1四半期	第2四半期 (予定)	第3四半期 (予定)	第4四半期 (予定)	年間配当 (予定)
4.1	4.1	4.1	4.1	16.4

年間配当推移

(単位：円)



保有株数と保有期間に応じて増額する株主優待制度を2025年8月より導入。
年2回、権利確定日に保有する株数と継続保有期間に応じて進呈。

年間進呈額

	1年超 2年未満	2年超 3年未満	3年超 5年未満	5年超
1,000株以上 2,500株未満	5,000円分	10,000円分	15,000円分	20,000円分
2,500株以上 5,000株未満	12,500円分	25,000円分	37,500円分	50,000円分
5,000株以上 10,000株未満	25,000円分	50,000円分	75,000円分	100,000円分
10,000株以上 15,000株未満	50,000円分	100,000円分	150,000円分	200,000円分
15,000株以上 20,000株未満	75,000円分	150,000円分	225,000円分	300,000円分
20,000株以上	100,000円分	200,000円分	300,000円分	400,000円分

増配後の配当利回り **2.9%**

+

優待利回り最大 **3.6%**

総合利回り **6.5%^{※1}**

プライム市場平均**2.36%^{※2}**
を大きく上回る

※1 配当利回りは、2025年12月期の1株当たり年間配当金16.0円(予定)を2026年4月30日時点の株価(556円)で除した値。株主優待利回りは、2026年4月30日時点の株価(556円)で除した値。

※2 東京証券取引所「[その他統計資料](#)」2025年7月時点の加重平均利回り。

優待品についてはデジタルギフト®を導入することで、
電子マネーやポイントなど多様な受け取り方が可能。

交換品（一例）

現物	QUOカード	
デジタル （一例）	電子マネー / 電子ギフト	PayPay マネーライト※、QUOカードPay
	ポイント	dポイント
	ギフトカード	Amazonギフトカード、Google Play ギフトコード、 au PAY ギフトカード、図書カードNEXT等
	暗号資産	ビットコイン by bitFlyer 等

※ 手数料が5%発生します。

2026年2月、自己株式取得を通じたROEの向上を目的に、
過去最大規模の自己株式取得を決定。

自己株式取得の概要

概要

- ・ 取得金額の上限 : 60億円 (過去最大規模)
- ・ 取得株式の上限 : 12,000,000株
(発行済株式総数 (自己株式を除く) に対する割合 10.82%)
- ・ 取得期間 : 2026年2月13日～2026年8月31日

取得状況 (4/30時点)

- ・ 取得金額 : 2,499,947,590円 (進捗状況 41.67%)
- ・ 取得株式 : 4,398,100株 (進捗状況 36.65%)

BUSINESS

基幹技術 モチベーションエンジニアリング



組織開発 Division	コンサル・クラウド事業
	IR支援事業
個人開発 Division	キャリアスクール事業
	学習塾事業
マッチング Division	ALT配置事業
	人材紹介事業

ベンチャー・インキュベーション

04 | 質疑応答

質疑応答の内容は、
「ミーティングメモ」を
ご確認ください



Link and Motivation Group

リンクアンドモチベーション 会社説明会

Link and Motivation Inc.

株式会社リンクアンドモチベーション

証券コード：2170